

## 社 報



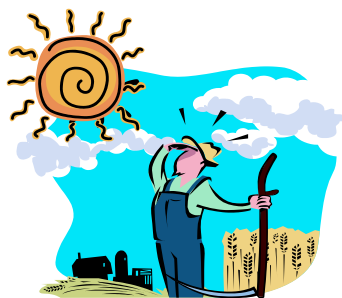
## 挑戦する者だけが成功する

## ピンポイントを工法指定

先日、関東の元請企業様からピンポイント工法の間合せをいただきました。

話を聞くと、なんと設計図書に工法指定されているとの事でした。

設計事務所様の名前も聞いたことがなく、見積り用の図面を送付いただきましたところ、建築特記仕様書に、工期短縮を目的として、ピンポイント工法の採用が記載してありました。ありがたい話です。(感謝)



暑い日が続きます。お体を大切に！

先月は、「やってみなはれ」「結果を怖れてやらないことを悪とし、なさざること罪と問う」という、サントリーの有名な逸話を紹介しました。

社会は、成功した人をほめたたえませんが、逆に失敗した人は軽蔑されるようになりがちです。

成功する確率は小さく、失敗する確率が高いのを、ビジネスの常とするならば、低い確率の成功を狙うより、成功もないが失敗もない、という保守的な道を歩みがちになります。

日本社会では、積極的打って出るよりも、保守的に目立たずに、でも、大勢の中に埋没しないように、要領良く生きる、みたいな生き方を「賢い」と言われるケースもあるようです。

そのような人生は確かに、手堅く人生を守るという意味では「賢い」のですが、それでは人生の意味が薄いものとならないでしょうか。

アメリカは近年非常に発展した国のひとつです。それ以前は、イギリスが世界の盟主と呼ばれていて、ヨーロッパの国も繁栄していたように思います。繁栄したヨーロッパから、新天地

を求めて、アメリカへ移民した人々の多くは、ヨーロッパの貧しい人々であったようです。

でも、ヨーロッパの貧しい人々のすべてが移民したかと言うと、そうではありません。その中でも、アメリカに行けば何とかなるかも知れないと、夢と希望を抱いた者だけが移民として国を渡ったのです。

アメリカは新天地と呼ばれた頃、移民によって、積極的に挑戦する者だけが、結果的に選別され、それがフロンティア精神として受け継がれました。そして、地理的に恵まれたこともあり、その後の飛躍的な発展を成し遂げたのです。

自動車・飛行機・コンピューター、など多くの工業製品はアメリカで花開くことになるのです。

近年のアメリカは少し元気がないと思います。それは豊かな国に行けば豊かになれるという移民が増えたからかもしれません。

人に頼る生き方は、頼られる人の力をも奪いかねません。自立精神こそがビジネスの王道です。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 国土交通省のチームアドバイス事業に選定

国土交通省では、「建設企業等のための経営戦略アドバイザー事業」を実施されています。この事業において、他企業に対しモデル性の高い新事業展開などの取組を、「チームアドバイス支援」の対象として29件の事業を選定されました。

この中に、当社の応募案件でありま

す、「汎用FRP型枠の実用化、事業化」についても選定をいただきました。専門家のアドバイスをいただくことで、事業をより積極的に効率的に、進捗を図りやすくなります。

なにより選定いただいたことで、新事業に取り組む意欲を、さらに強く持ち、成功をつかみたいと思います。

## 2014年 安全成績

■現場災害 H26.1.1-H26.8.5	
休業災害	----- 2
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■交通災害 H26.1.1-H26.8.5	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0